

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成29年度)

施設 の 名 称	宮城県障害者総合体育センター
指 定 管 理 者 の 名 称	社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会
施 設 所 管 部 課 (室)	宮城県保健福祉部障害福祉課

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者(管理受託者)の名称	摘 要
平成18年4月 ~ 平成21年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会	
平成21年4月 ~ 平成26年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会	
平成26年4月 ~ 平成31年3月	指定管理者	社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会	

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

指 定 管 理 者 の 名 称	名 称	社会福祉法人宮城県身体障害者福祉協会
	所在地	宮城県仙台市宮城野区幸町4丁目6-1
指 定 期 間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日 (5か年)	
募 集 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	

3. 施設の概要【施設所管課記入】

施 設 の 名 称	宮城県障害者総合体育センター	
所 在 地	宮城県仙台市宮城野区幸町4丁目6-1	
設 置 年 月	昭和50年1月	
根 拠 条 例 等	障害者体育施設条例	
設 置 目 的	当施設は、障害者のスポーツの振興及び普及を図り、もって障害者の心身の健全な発達並びに自立及び社会参加の促進に資するため設置したものです。	
施 設 の 内 容	敷 地 面 積	16,095.37㎡
	構 造	鉄骨一部鉄筋コンクリート造
内 容	体育館 : 体育室、トレーニング室、事務室、更衣室、トイレ、機械室 グラウンド: グラウンド、器具室、更衣室、トイレ	
開 館 (所) 日	火曜日、12月29日～翌年1月3日を除いた日	
開 館 (所) 時 間	午前 9時00分 ~ 午後 8時00分(グラウンドは午後5時まで)	
指 定 管 理 者 が 行 う 業 務 の 範 囲	<ul style="list-style-type: none"> ・体育センターの設置目的に即した業務(施設の提供、指導及び普及など) ・施設全体の管理運営業務(経営マネジメント、経理及び各種報告書の作成) ・施設の利用促進等に関する業務(運営協議会、利用調整会議の開催) ・施設の使用許可申請の受付及び許可業務 ・機械設備の操作・日常点検業務 ・施設全体の維持管理業務(清掃及び保守点検等) ・施設の亡失等の届け出受理及び報告業務 	
利 用 料 金 制	採 用 の 有 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	利 用 料 金 の 名 称	体育館、グラウンド

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 開館(所)日数及び利用者数

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
開館(所)日数	308 日	308 日	308 日	100.0%	100.0%
延べ利用者数	33,000 人	33,435 人	28,691 人	86.9%	85.8%

(注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。

(2) 延べ利用者数の内訳

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
障害者	11,000 人	11,837 人	9,878 人	89.8%	83.5%
その他	22,000 人	21,598 人	18,813 人	85.5%	87.1%
合 計	33,000 人	33,435 人	28,691 人	86.9%	85.8%

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
県指定管理料	28,927	28,927	28,927	100.0%	100.0%
利用料金収入	915	1,020	931	101.7%	91.3%
その他	30	27	229	763.3%	848.1%
収入計 (a)	29,872	29,974	30,087	100.7%	100.4%

(2) 支出

人件費	17,827	18,456	16,878	94.7%	91.4%
施設管理費	6,547	6,748	7,710	117.8%	114.3%
事業運営費	5,337	4,258	4,421	82.8%	103.8%
その他	161	166	429	266.5%	258.4%
支出計 (b)	29,872	29,628	29,438	98.5%	99.4%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	346	649	0.0%	187.6%
前期繰越収支差額				0.0%	0.0%
次期繰越収支差額				0.0%	0.0%

自主事業収支実績

(1) 収入

(単位:千円, %)

項 目	事業計画	実 績		対計画比 (C)/(A)	対前年度比 (C)/(B)
	評価対象年度 (平成29年度) (A)	前 年 度 (平成28年度) (B)	評価対象年度 (平成29年度) (C)		
自主財源	52	52	52	100.0%	100.0%
収入計 (a)	52	52	52	100.0%	100.0%

(2) 支出

各種大会開催事業費	47	52	48	102.1%	92.3%
応急手当(心肺蘇生)講習会費	5	0		0.0%	0.0%
支出計 (b)	52	52	48	92.3%	92.3%

(3) 収支

収 支 (c)=(a)-(b)	0	0	4	0.0%	0.0%
前期繰越収支差額				0.0%	0.0%
次期繰越収支差額				0.0%	0.0%

※ 自主事業を実施している場合は、上記に準じて、自主事業の収支実績を別掲すること。

6. 評価対象年度(平成29年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

項目	事業実績 【指定管理者記入】		指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】		
				評価		評価	
①管理運営体制	<ul style="list-style-type: none"> 職員は正規4名・契約職員1名の合計5名の配置(そのうち2名が福祉センター勤務を兼ねる) 職員の研修については福祉研修・障害者スポーツ研修会等を実施・派遣しました。 		<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者に各種スポーツの情報を提供し、各事業でのスポーツプログラムのサービス提供を積極的に行いました。 緊急時の対応・対処を学ぶため、救命救急法講習会を開催し、職員全員が参加しました。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 障害者スポーツの普及活動「スポーツ交流ひろば」や「地域巡回指導」で、新種目の普及に積極的に取り組むなど、参加者から関心も高く、好評であり、必要最低限の職員配置で、事業を効率的且つ適切に実施されている。 	A
人員体制	正規 4人	非正規 1人					
②施設・設備の維持管理業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> 各設備保守委託業者と連絡を取りながら、定期的な保守点検と施設・設備の修理をしました。 各施設・設備保守点検 消防設備消火栓・配線交換工事 床洗浄ワックス塗装工事 点字ブロック取付け工事 漏水修繕工事 		<ul style="list-style-type: none"> 各業者による点検・修繕を実施し、職員が携われる面は自ら修理、点検、整備を積極的に行いました。 隣接する各福祉団体の協力により冬期間は職員が除雪と融雪剤散布を行いました。 冬期間を除き、職員によってグラウンドの転圧及び芝生整備を行いました。 		S	<ul style="list-style-type: none"> 保守点検が確実に実施されているほか、施設・設備の老朽化が著しいこともあり、職員一人一人が利用者の安全、施設の維持管理に配慮し、率先して努めている。 	S
③運営業務(ソフト事業等)の実施	<ul style="list-style-type: none"> 事業仕様書により実施した各事業 障害者スポーツ活動普及促進事業 (1)スポーツ研修・交流会 (2)地域巡回指導 (3)健康教室 (4)啓発・情報の提供 (5)障害者スポーツ普及事業への協力 		<ul style="list-style-type: none"> 障害者のスポーツ競技志向、健康の維持・増進等多様な目的に応えるべく様々な障害に応じて各事業で障害者スポーツを提供しました。 		A	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピックを2年後に控え、障害者スポーツへの関心、体育センターへの需要が高まる中、どの事業も参加者に好評であり、障害者スポーツの普及促進が計画通り実施されている。 今後は、障害に応じた新種目の普及、地域巡回場所の新規開拓など継続して取り組んでいきたい。 	A
④自主事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> アーチェリー大会 救命救急講習会 		<ul style="list-style-type: none"> アーチェリー大会では障害の有無に関わらず多くの方が参加され、レベルの高い大会となりました。 救命救急講習会では、これまでの内容に加え、今年度は水中安全法を実施。他施設及び体育センター利用者の参加があり、実技も含めて全員が実践しました。 		S	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、種目を変えて大会を実施し、幅広く競技者のふれあいの場を提供しているが、例年開催されるわけではないため、大会の継続方法について、競技団体へ働きかけるなど、今後、事業の方向性を検討していただきたい。 救命救急講習会については、新たな取組によって、職員の知識向上、利用者の安全確保に率先して取り組んでいる。 	A
⑤利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> 運営協議会の実施・利用調整会議の設置 運営・利用者からの要望の対応 物品(体育備品)の無料貸し出し AED、熱中症応急キットの設置 毎朝の消毒による感染予防(ドアノブ、手すり、受付) 毎朝の体育館、トイレ、更衣室、機械室の安全確認 		<ul style="list-style-type: none"> 運営協議会、利用調整会議で様々な意見をいただき、管理運営に反映しました。 毎朝、体育館を職員が目視点検してからの開館としています。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 運営協議会、利用調整会議等を開催、調整することで、利用者ニーズの把握に努め、サービス向上に努めている。 利用者ニーズに答えるため、対応できる範囲で設備整備や日常点検を実施している。 施設のHPリニューアルを検討したい。 	A
⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映	<ul style="list-style-type: none"> 意見箱の設置 口頭、電話等による要望受付 苦情受付の窓口設置 		<ul style="list-style-type: none"> ご意見は苦情・要望に区別して把握し、迅速な対応・解決改善を心がけ、誠実に対応しました。職員間、関係機関の連絡を密にしました。 苦情はありませんでした。 		S	<ul style="list-style-type: none"> 職員の丁寧な対応により、苦情が一切ないことは高く評価しており、今後も継続したい。 その他、施設や設備に関する意見、苦情はその都度、丁寧に対応しており、適切である。 	S
⑦安全対策	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場不足に伴う交通整理、利用者の誘導 点字ブロック上の安全確保(車両移動)を実施 消防訓練の実施(2回実施) 放火対策として、前日のゴミ出しを止め、当日朝に出すように近隣関係機関にも徹底しました。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用者が安心して利用できるよう安全面の確保に努めました。 地震火災を想定した避難訓練では職員は速やかな行動で訓練を実施しました。 冬期間の積雪には利用者の安全対策として除雪を積極的におこないました。 		S	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練では、東日本大震災を教訓にエレベーターが使用できなかった場合を想定した訓練を実施するなど、工夫が見られた。 イベント開催時の駐車場整理や、点字ブロック上駐車車両の移動、冬季の除雪作業など、職員の細やかな気配りにより安全が確保されている。 	S
⑧県民の平等利用	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用において利用調整会議を行っており、登録団体による抽選形式を採用して平等化を図りました。 		<ul style="list-style-type: none"> 利用調整会議では公正・公平な利用抽選を行い、障害者団体の利用調整会議のあと、その他の団体の利用調整会議を実施し、体育館利用の平等化を図りました。 		A	<ul style="list-style-type: none"> 利用調整会議の開催や、体育館利用に当たっての抽選など、公平性が確保されている。 	A

項目	事業実績 【指定管理者記入】	指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】		県の評価 【施設所管課記入】	
			評価		評価
⑨個人情報の保護	・基本協定書の「個人情報取扱特記事項」を順守し、職員には所内会議の中で取扱いについて確認をしました。	・特に問題はありませんでした。 ・各事業の申込受付では取扱いに注意し、保管期間経過後はシュレッターで破棄しました。 ・体育館、グラウンドの利用団体名簿は、ロッカー内で保管し、必要な場合のみ閲覧することとしています。	S	・個人情報書類やUSBメモリに関しては施錠管理が徹底されていた。 ・職員が使用するパソコンについても、パスワード管理されている。 ・体育館の利用団体について、県民からの問合せにがあった場合は、団体側に事前に紹介方法や連絡方法を確認しておくなど、徹底している。	S
⑩利用実績	・上記4. 施設利用実績の通り	平成27年10月より体育館利用で夜間利用時間が延長になり、夜21時までの利用が多くなっています。延べ人数は減少しておりますが、体育館の利用率は例年と変わりなく、施設が空いた時間帯には個人利用が入ることもあり、効率的な貸館業務ができています。	A	・前年度実績対比では減少しているものの、東日本大震災以降、施設の老朽化なども懸念される中、1万5千人以上の利用者を維持しており、概ね良好と思われる。今後は、利用者の減少がないよう、現状維持に努めていただきたい。	A
⑪収支実績	・上記「5. 管理運営収支実績」の通り	・支出面では業務運営に支障が出ない状況で節約しました。	A	・業務に支障がない範囲で節約に努め、収支も適切に管理、執行されている。	A
⑫その他の取組	・虐待防止への取り組み ・地域、住民関係機関との連携 ・環境配慮の取り扱い状況	・虐待防止委員会を設置し、啓発や防止に努めました。 ・地域の方々にも施設を開放しており、事業等の参加を案内し、障害者への理解・共生を図りました。	S	・障害者への理解、共生の場が積極的に設けられており、施設のPRにも繋がっている。 ・健常者のボランティア(企業、個人共に)参加が増加しており、継続して取組んでいきたい。	A
総合評価		・平成29年度事業計画に基づき適切な管理運営を行いました。利用者のニーズに合わせたスポーツ教室の開催、地域巡回指導を実施しました。 ・年々、県内市町村からの地域巡回指導の依頼が増えており、施設の管理運営に支障が出ないよう調整を図りながら、地域活動・啓発に努めました。	A	・計画通りに事業が実施され、施設の維持管理や利用者への配慮といった点では優れた管理運営が行われていた。 ・前年度対比で利用者数が減少している一方で、出前講座への依頼が増加しているなど、利用者ニーズの形態が変わってきているなか、最低限の職員配置で可能な限り対応している。	A

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。

【県が行う評価の基準(目安)】

評価	評価の考え方
S	年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。
A	年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。
B	年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。
C	年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

項目	指定管理者 【指定管理者記入】	県 【施設所管課記入】
管理運営の課題等	体育館・グラウンドの利用者数は平成28年度より5400名の減少となりました。27年10月より夜間利用時間が21時まで使用可能となり、夜間利用の障害者は増加している傾向です。今後は、さらに利用者のニーズに沿った事業を開催していく必要があると感じており、これまで以上に各種事業の目的などを設定した上で事業を展開し、体育館の利用促進に努めてまいります。また、県内各市町村からスポーツ教室等の事業依頼が増えており、職員派遣の体制づくりが今後さらに必要になるかと思われま。	施設の老朽化に伴う、維持修繕、安全確保等の検討が必要である。 また、利用者ニーズの変化により、今後の事業展開や施設のあり方など、他県の状況や先進事例を踏まえて検討する必要がある。